

〈各務原市の方針〉 心豊かでたくましく、自立した人間形成を支える教育
「誇り・やさしさ・活力のある児童生徒」
～一人一人が幸せを実感できる学校教育～
〈学校の教育目標〉 志をもって生きる ～向上・礼節・思いやり～

◇学校課題

- ・一人一人に確かな学力を身に付けさせ、全国学調や岐阜県学調において、学校として全国平均や県平均をクリアさせる。
- ・自分のよさを自覚し、自信をもって生き生きと学校生活を送ることができるようにする。

◇めざす生徒 自分らしく生き生き生きる

- 自分のよさを自覚するとともに、そのよさを伸ばそうとする努める生徒
- 目標をもち、その実現に向け、粘り強く取り組む生徒
- 課題や問題を解決したりプレゼンテーションしたりすることができる生徒
- 他者の心の痛みを理解し、時と場に応じて配慮ある言動ができる生徒
- 「桜中A B C D」を意識し実践することができる生徒

◇生徒の実態

- ・落ち着いて学校生活を送っているが、自分に自信がもてない生徒が目立つ。
- ・他者の気持ちを理解したり慮ったりする態度が十分ではない。
- ・真面目に授業に取り組むが習熟度の個人差が大きい。

〈こんな教師で在りたい〉

◇いつも**笑顔**で教育公務員としての**専門性**を高めるために**向上**しようと努める教師で在りたい

どんな子どもでも伸びたいと言う気持ちをもっている。それはもう、身の程知らずといっているかもしれない。少なくとも教師は、子どものそういう本音を理解して指導にあたる必要がある。子どもの姿を変えるのは、真に子どものことを考える愛情でしかない。教師の力は万能ではない。しかし、影響力は大きい。見えないものを見抜く温かく優しい眼と、人としての生き方を導く厳しさをもつ教師で在りたい。生徒の心が教師に向かって開いてはじめて指導が成立する。これが教師と子どもとの信頼関係である。指導力の半分は人柄（人間性）である。この人(先生)の話なら聞けると生徒が思う教師で在ることができるように、わたしたちは常に研究と修養を重ねる義務と責任がある。

〈学力の向上をめざして〉

- 1) 全ての教師が授業公開をして指導力の向上に努める だけじゃない授業
- 2) 生徒指導の3つの機能を生かすことを意識して授業実践をすすめる、特に、個と個のつながりを意図的に生み出しながら学力を高めるよう努める
- 3) 生徒による授業評価を実施し、課題を明確にして授業改善を図る
- 4) 一人でも計画的に家庭学習に取り組むこと

〈豊かな心の育成をめざして〉

- 1) 一人一人のよさを積極的に見だし価値付け、自己有用感を高め、自尊感情を育む指導を心がける。
- 2) 仲間と積極的に関わる態度を育成し、集団の中で個を高めていくよう指導する。
- 3) 生徒会活動や委員会活動など、自治的な活動を支援し、生徒自ら学校作りを推進する意識と意欲を高めるよう指導する。

〈学習指導部〉

- ・朝読書、朝学習
- ・生徒が意欲的に臨む授業づくりの工夫
- ・授業と繋ぐ家庭学習〈実践推進委員会〉
- ・授業力の向上

〈生活指導部〉

- ・人権感覚を高める（まず教師から）
- ・規律ある生活の確立
- ・価値ある姿を広める
- ・迅速、正確、誠実な対応で信頼作りを

〈特活指導部〉

- ・学級経営を核に関わりの中で一人一人のよさを伸ばす。
- ・生徒の自治的な活動による学校作りの主体者意識を育成

〈健康安全指導部〉

- ・生活のリズムと規律を生み出す給食指導、清掃指導
- ・命を守る訓練
- ・教育相談の充実（生徒、保護者）

学年会 学年主任はリーダーシップを発揮し、指導の方針や具体的な手立てを明らかにする。
積極的に情報交流を図り、組織の力を生かした指導を継続する。（学年集会の有効活用）